

研究に関する情報公開

福島県立医科大学会津医療センター整形外科・脊椎外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年5月 福島県立医科大学会津医療センター整形外科・脊椎外科学講座
白土 修

【研究課題名】

腰椎変性疾患における治療成績に対する心理社会的要因の影響に関する調査

【研究期間】

2022年5月～2028年3月

【研究の意義・目的】

厚生労働省による2019年国民生活基礎調査では、腰痛や肩こり、関節痛などの筋骨格系の疼痛が上位の有訴率を占めており、これらの対処は重要な課題です。近年では筋骨格系疾患の慢性疼痛に対する考え方は、その患者さんの身体機能などにのみ着目するのではなく、心情やストレス、恐怖感や患者さんを取り巻く環境などの心理社会的要因も含めた生物心理社会モデルに基づいた治療が推奨されてきています。我々、福島県立医科大学会津医療センター附属病院整形外科・脊椎外科では、これまで多くの筋骨格系疾患、特に腰椎変性疾患に対し、運動療法などの保存療法や手術を実施してきました。今回の研究の目的は、腰椎変性疾患を有する患者さんの治療成績に対し心理社会的要因の影響を調査することです。研究の結果によって、患者さんのリハビリテーションプログラムの立案や治療方針、予後予測のための意思決定に役立つ可能性があります。

【研究の対象となる方】

2022年4月～2028年3月に会津医療センター附属病院整形外科・脊椎外科で、腰椎変性疾患（腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎すべり症、成人脊柱変形）の診断がつき、治療を受けた患者さんを対象とします。

【研究の方法】

以下の試料・情報を用いて研究を行います。

上記対象者の基本的な情報（性別、年齢、身長、体重、診断名、画像所見など）、生物医学的要因（体幹、四肢の筋力、柔軟性、姿勢や歩行能力）、心理社会的要因（質問紙を用いたストレスや恐怖感など）、自己記入式アンケートによる生活の程度（QOL）を調査します。以上のデータをもとに統計解析を行い各データの関係性や影響度を調査します。研究結果は、学会発表、論文発表などで公開しますが、研究対象者のプライバシーおよび個人情報保護されます。

【研究組織】

研究責任者	会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座	白土 修
研究分担者	会津医療センター附属病院リハビリテーション科	佐藤 圭汰
	会津医療センター附属病院リハビリテーション科	川本 光郁
	会津医療センター附属病院リハビリテーション科	永峯 朱莉
	会津医療センター附属病院リハビリテーション科	遠藤 達矢
	会津医療センター附属病院リハビリテーション科	三浦 拓也
	会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座	佐久間 洋太
	会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座	波入 雄大
	会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座	岩淵 真澄

【他の機関等への試料等の提供について】
提供はありません。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21 番地 2
福島県立医科大学会津医療センター リハビリテーション科 担当 佐藤 圭汰
電話番号：0242-75-2100（電話交換室にてリハビリテーション科につながります）
FAX：0242-75-2568
E-mail:keita-s@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取消すことは困難な場合もあります。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21 番地 2
福島県立医科大学会津医療センター リハビリテーション科 担当 佐藤 圭汰
電話番号：0242-75-2100（電話交換室にてリハビリテーション科につながります）
FAX：0242-75-2568
E-mail:keita-s@fmu.ac.jp